

本籍地	現住所	新居郡	戸籍	年	月	日	時	分	秒	備考
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

死後有湖書目

ハラケルカクテ...  
 此の如き...  
 此の如き...  
 此の如き...

天正... 元... 石... 運...  
 石の... 運...  
 申... 和... 年... 月... 日...  
 年... 海... 氏... 名...  
 然... 派...  
 57-11

申 入籍... 年級... 海... 氏名...

若 本籍地 石... 派... 運...

南... 一本... 派... 運...  
 他人... 派... 運...

死 殞 者 調 書



90-11

本籍地	現住所	所属部隊	入国年月日	等級	従軍	現職	再従軍
[Redacted]	全左	佐下特	一四一八四	上等	八年	[Redacted]	[Redacted]
					内地	旅者係	
					外配	ブーゲン	
					勲務		
					疾病		
					死亡		
					死亡		
					死亡		

昭和三年六月五日

昭和三年六月五日

申告者		入籍番號	等級	氏名
本籍地	現任所		一等曹	
所属部隊	石岡			
佐野藤吉府省大特別隊隊員				

備考

- 一本調書は死没者の身上関係一切を處理するもの下あから  
慎重に且詳細に記入し下す
- 他人多聞を承知した事項は其の旨末尾の餘白に記  
入し下す

昭和三年七月一日

停

4009

陸軍省 陸軍部

本籍地	[Redacted]
現任所	今右
所属部隊	南軍方面通信司令部
入隊年月	昭和十五年八月
官等 級	上等曹 (ハ、五、五)
内地渡出年月日	昭和十五年十月十五日
渡出地	昭和十五年十月二十日
訓練ノ結果	昭三五〇、一昭三八中支方面海軍陸戦隊勤務。昭六八、一昭一八、二海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一〇海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一一海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一二海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一三海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一四海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一五海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一六海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一七海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一八海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一九海軍研究所(機務)入隊。昭六八、二〇海軍研究所(機務)入隊。昭六八、二一海軍研究所(機務)入隊。昭六八、二二海軍研究所(機務)入隊。昭六八、二三海軍研究所(機務)入隊。昭六八、二四海軍研究所(機務)入隊。昭六八、二五海軍研究所(機務)入隊。昭六八、二六海軍研究所(機務)入隊。昭六八、二七海軍研究所(機務)入隊。昭六八、二八海軍研究所(機務)入隊。昭六八、二九海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三〇海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三一海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三二海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三三海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三四海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三五海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三六海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三七海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三八海軍研究所(機務)入隊。昭六八、三九海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四〇海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四一海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四二海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四三海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四四海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四五海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四六海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四七海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四八海軍研究所(機務)入隊。昭六八、四九海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五〇海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五一海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五二海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五三海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五四海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五五海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五六海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五七海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五八海軍研究所(機務)入隊。昭六八、五九海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六〇海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六一海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六二海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六三海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六四海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六五海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六六海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六七海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六八海軍研究所(機務)入隊。昭六八、六九海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七〇海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七一海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七二海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七三海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七四海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七五海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七六海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七七海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七八海軍研究所(機務)入隊。昭六八、七九海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八〇海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八一海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八二海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八三海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八四海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八五海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八六海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八七海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八八海軍研究所(機務)入隊。昭六八、八九海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九〇海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九一海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九二海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九三海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九四海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九五海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九六海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九七海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九八海軍研究所(機務)入隊。昭六八、九九海軍研究所(機務)入隊。昭六八、一〇〇海軍研究所(機務)入隊。
發病(受傷)年月日	昭和二十年十二月二十八日
病名(受傷部位)	A型パラチフス兼 異水熱

634

死亡年月日 昭和二十一年八月二十日  
 時刻及場所 昭和三十二年八月二十日  
 右申告ス

昭和二十一年 八月二十日

氏名	南東	官階級	二等兵曹
現住所	△△△△	入籍番號	
所属部隊	南東方面維持隊司令部		

備考

- 一 本調習ハ部隊長又ハ勤務取扱者等與地方復員局人等部長宛通報スベキ
- 二 責任者ニ於テ知得シアラズ 認ムルモノニ付記載ス
- 三 吳鎮在時ノ勤務士官補士官、下士官兵ニ付記載ス
- 四 同隊人ハ勿論他隊員出身者ニ於テモ記載ス
- 五 知得シテハ範圍ニ於テ出来得ル限リ詳細ニ記載ス
- 六 他人ヨリ聞キテ知得タル事蹟ハ各該官職ニ相手方ヲ記載ス

639-10

鹿児島縣 第一師團 第一旅團 第一連 第一班

本籍地 [Redacted]

現在所 同

所 山 郡 第一根據地隊司令部

入 西 一 年 月

上等

上等

上等

加わりの... 根據地隊司令部

昭和三年一月十日

...

鹿児島縣 第一師團 第一旅團 第一連 第一班

死亡年月日 昭和二十九年八月二十日 死亡の別 死因 女 病死

死亡の状況 合意の上で自決したものと見られるが、詳細は不明である。死後、遺体は発見されず、発見されたのは遺棄されたものである。死亡の別は死因による。

昭和二十九年八月二十日

申告の番地 台一丁目九番一氏名 印

本籍地 [Redacted]

現住地 [Redacted]

所属部隊 陸軍省防務局防務課

備考

一 本件は死因不明の身上死に一切の疑念なくとも、疑わしき場合は、併記記入して下さい。

二 他人から知って知しに死した場合は、死因の旨を記載し、併記して下さい。

7/16 2/1

(赤付別紙参照)



此處... 許... 上... 以下...

死 殺 荷 調 書

41-2

1842

控 控 控

籍 地

住 在 第 二 海 系 街 橫 須 賀 向 左

年 月

照 在 十 八 年 四 月 三 日

役 種 現 役 志 願

兵 種 水 兵

級

二 兵 曹

氏 名

入 籍 番 號

姓 名

照 在 十 八 年 八 月 三 日

上 地 名

橫 須 賀 港

以 真 此 之 籍

南 海 道

日 期

照 在 十 八 年 八 月 三 日

上 地 名

ト ラ ヲ ク 島

運 射 砲 兵 至 極 真 而 日 三 十 于 服 從 令 當 上 自 己 配

務 班 序

一 番 砲 手

運 射 砲 兵 至 極 真 而 日 三 十 于 服 從 令 當 上 自 己 配

日 期 照 在 十 八 年 十 二 月 十 五 日

運 射 砲 兵 至 極 真 而 日 三 十 于 服 從 令 當 上 自 己 配

右方區及八室如春中 三月二十日 院後天 春十日

知小... 軍度... 高... 院... 春... 十日... 院後天... 春十日

知小... 軍度... 高... 院... 春... 十日... 院後天... 春十日

知小... 軍度... 高... 院... 春... 十日... 院後天... 春十日

知小... 軍度... 高... 院... 春... 十日... 院後天... 春十日

知小... 軍度... 高... 院... 春... 十日... 院後天... 春十日

知小... 軍度... 高... 院... 春... 十日... 院後天... 春十日

知小... 軍度... 高... 院... 春... 十日... 院後天... 春十日

知小... 軍度... 高... 院... 春... 十日... 院後天... 春十日

舊海軍軍人現況不明者調書

特別番號 157

(所) 辭令年月日 一等司 八三三三五		等級	氏名	生年月日	入籍番號	現本	住所	
留守擔當者		氏名	名	名	名	名	名	
家族の承知してゐる情況 差出日附 ( ) 部隊符號 ( ) 受領年月日 ( ) 檢閲者印 ( )		内容	同右現住所 情報提供者 提供年月日 同右現住所 情報提供者 提供年月日	歸還者からの情報 年 月 日	同右現住所 情報提供者 提供年月日	同右現住所 情報提供者 提供年月日	同右現住所 情報提供者 提供年月日	同右現住所 情報提供者 提供年月日
内地出發年月日、場所、乘船名(又は航空機)行先 愛媛縣		本人からの最後の通信		同右現住所 情報提供者 提供年月日		同右現住所 情報提供者 提供年月日		
( ) 部隊長から何か通知があつたか		( ) 本人との何處で何時に一緒に居たか		( ) 同右現住所 情報提供者 提供年月日		( ) 同右現住所 情報提供者 提供年月日		
( ) 同右現住所 情報提供者 提供年月日		( ) 同右現住所 情報提供者 提供年月日		( ) 同右現住所 情報提供者 提供年月日		( ) 同右現住所 情報提供者 提供年月日		

52

佐 人 資 料	世 話 課 (科)	資 料 及 所 見	其 の 他 究 明 上 参 考 と な る べき 事 項	取 扱 理 部	家 族 渡 受 領 の 情 況 及 取 扱 理 部	昭 和 二 十 一 年 八 月 一 日 又 は 其 の 後 に 未 復 員 届 を 出 した か 出 し て 	其 の 他 の と こ ろ か ら 何 か 通 知 が あ つ た か  (右 通 知 した 人 の 住 所 氏 名)	通 知 が あ つ た か	後 本 人 の 消 息			
									行 逃 原 因	不 明 の 場 合	明 確 な 所 推 定	ば ら な 等
21.2.25 戦病死 フウシ 一 根					22.5 送 度 部 佐 保 経 理 部				2062 23年 5月 1日 没 失			

52-10

年三十一日... 二月... 三月...  
 臣等... 奏... 奉... 旨...  
 光復者調書... 吳... 帝...

本籍地	[REDACTED]
現任所	[REDACTED]
所屬部隊	[REDACTED]
姓名	[REDACTED]
職務	[REDACTED]
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...

本籍地	[REDACTED]
現任所	[REDACTED]
所屬部隊	[REDACTED]
姓名	[REDACTED]
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...
...	...

一 本籍... 現任所... 所屬部隊...  
 二 姓名... 職務...  
 三 本籍... 現任所... 所屬部隊...  
 四 姓名... 職務...  
 五 本籍... 現任所... 所屬部隊...  
 六 姓名... 職務...  
 七 本籍... 現任所... 所屬部隊...  
 八 姓名... 職務...

吳帝... 吳帝... 吳帝...

吳帝... 吳帝... 吳帝...

15-802

戦没公報

十四、十九

九月十九日

申告書

一、戦没者 官職氏名

海軍 藤上等兵曹

戦死年月日及場所 昭和二十一年三月十八日 南特集園病院  
戦死の状況 昭和二十年十一月十六日 南特集園病院  
昭和二十一年三月十八日 南特集園病院

同第... 昭和二十一年三月十八日午後十時頃  
死亡の病名 コレリヤ 腸炎  
遺骨 八回集園

遺族 妻

本籍地

遺族現住所

申告者 本籍地

戦没者

現任并

官職及名

并為經船打隊名

同右

陸軍中長

南洋派通員之身三稜國軍用者一平康

(終)

6-10

死 級 者 胡

古 班

本 姓 氏

海 任 所

所 屬 部

入 團 年 月

官 階 級

內 外 離 隊 出 隊 年 月 日

離 隊 到 前 年 月 日

領 賜 勳 章

榮 功 (受 恤) 年 月 日

病 名 (受 傷 部 位)

特 種 (受 恤) 文 八 職 死 附 人 職 死

死 亡 年 月 日 批 別 友

一、五 官 軍 地 隊 部 隊 限

十 七 年 五 月

現 役

兵 科

曹

昭 和 十 八 年 五 月 十 七 日 死 亡 傷 亡

昭 和 十 八 年 六 月 十 日 軍 官 高 等 兵 一 也

十 三 號 七 號 軍 官 高 等 兵 隊 隊 員

昭 和 三 十 年 三 月 十 五 日 噴 子 傷 亡 傷 亡 傷 亡 傷 亡

三 日 死 亡 傷 亡 傷 亡

入 院 後 數 日 死 亡 傷 亡 傷 亡 傷 亡 傷 亡

昭 和 三 十 一 年

貴 殿 在 左 記 由 宗 氏 承 知 由 宗 氏 承 知 由 宗 氏 承 知



右 訓 書  
B 班

新隊

理役  
兵科

千五百平七日 宛世也

千六月七日 宛平カニ高クハ一也

高内地 隊員  
鏡ニ書意

千三月十五日 宛平熱子ヤノ無入院人

ラリヤ

用九近熱下又平度者ヤ

昭和二十五年六月二十日

吳地方總務局 司令部  
南東信班

殿

貴殿は左記の者の死没状況を就中  
申添知り由家族より向知ありませぬ  
申添致し別紙死没者調査に記入  
無きと返送方お願ひします

如  
[Redacted]  
[Redacted]  
[Redacted]

62804

石 甲 行

昭和 二十一年 六月 二十八日

氏 名	所 在 部 隊	現 任 所	本 籍 地
[Redacted]	陸軍第一等兵	[Redacted]	[Redacted]
人 籍 証 記	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

一、本隊...  
 二、...  
 三、...  
 四、...  
 五、...

188-10

67/48

異人第五號ノ三八ノD・五之四

學地方衛員附人事務部

現況不明者消息調査(昭和 〇〇年 〇月 〇日)

甲 告 名		本 人		同 答		備 考	
現任所	級 級	本籍地	所 籍	轉出先	轉出年月日	退職した地名	職名
[Redacted]	主大尉 氏名 [Redacted]	[Redacted]	ハルノ	海軍本部長 氏名 [Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
小幡善雄 (現任所不明)			入籍地 [Redacted]	ニエーグラー島 スズウレ			三日致マツリヤ「フィン」病死
							其の他 [Redacted] 兼團(病院)入院中死す
							事項 [Redacted]

一昨一死致原因事項は推定でも結構ですから記入して下さい

トモガタの調査(現任所不明) 〇〇年〇月〇日(氏名不明) 〇〇〇〇〇〇

死後遺調書

水著地

現任

水著部隊

南東方面隊司令部

軍屬

昨費

官等次 船員

生年

籍貫

可定

昭和拾八年四月二十八日

昭和拾八年六月三十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和拾八年八月十日

昭和二十一年八月八日  
於羅春

昭和二十一年八月二十六日

本籍

現任

左 令

南東方面艦隊司令部

二等級 船員

入籍吉境

備考

一、本籍吉境、現任係長、後務取、二等三等、復員、司令、軍部、長、先  
二、同、年、縣、令、知、命、地、所、駐、出、分、者、三、或、五、定、或、又  
三、同、年、縣、令、知、命、地、所、駐、出、分、者、三、或、五、定、或、又  
四、同、年、縣、令、知、命、地、所、駐、出、分、者、三、或、五、定、或、又  
五、同、年、縣、令、知、命、地、所、駐、出、分、者、三、或、五、定、或、又  
六、同、年、縣、令、知、命、地、所、駐、出、分、者、三、或、五、定、或、又  
七、同、年、縣、令、知、命、地、所、駐、出、分、者、三、或、五、定、或、又  
八、同、年、縣、令、知、命、地、所、駐、出、分、者、三、或、五、定、或、又  
九、同、年、縣、令、知、命、地、所、駐、出、分、者、三、或、五、定、或、又  
十、同、年、縣、令、知、命、地、所、駐、出、分、者、三、或、五、定、或、又

昭和十八年十月

張...

...

...

昭和十八年十月十日

...

姓名	階位	勤務	...	...	...
...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...

本籍地 南東方面  
 所屬部隊 南東方面  
 官名 松野

...

申立書

故

昭和十七年ラガバルに陸し御生共とシテ軍務、昭和十八年  
三月頃アトゲシビル島有前に上陸し  
同じ故郷の由境少く同三面會社  
昭和十八年九月下旬頃  
氏は面會に行きました  
氏は米材バツ材中材木より下敷となり即死し左處に  
ありました

後遺後軍速御家族の方へ御通知しとありました  
につき申立書を作つたれと御依頼が  
ありました  
が即死した事を確認致しませす

昭和十八年六月八日





録 3/102

事実 (環境) 概要

(所轄) 第二八設営隊

海軍軍病(正員)

六 勤務場所 (ニューブリテン島) トロト地区 (ラウエ島の十里)

一 概況

昭和五年三月二十一日から二十三日迄の第三航空隊の新設南飛行場の補修作業に従事し、概況は以下の通り。訓練、生産、陣地構築、大の巡軍、本隊はトロト地区にあり、生産作業(伐採、開墾、古蹟、植付)及び地下居住施設、地下倉庫、浴室、浴室の設置、食料配給、衛生設備、回線等については、編成後、一月十日より、食糧事情は落着き全くとり、

二 死亡者との関係並に勤務状況

死者の勤務は第一中隊の中隊長として死亡。死亡時迄指揮監督した。

四 健康状態

食糧事情は中人の生産隊に所屬し、量も比較的良好である。

中人の健康は非常に良し、人間的である。

断続

再受審（罹病）当時の作業状況

地下居住区、同倉庫改修の川の川に圍

下回りにも掘穴を穿つてあり

土質は火山灰のり比較的作業は容易  
あり

大受審（罹病）状況

前記作業中、吸結うら個所は約三割毎に居住形が木柱を柱上部倒面は  
柱を挿入は上りり名ある、その上作業の降軟弱の土質、個所の上部  
にあり土質の崩壊しれり、幸人のり下敷りり、後部胸部部子に強打を  
浴び直りりトベラ本部有全に収まりり、迷り死せりり五りり

右申告しませす

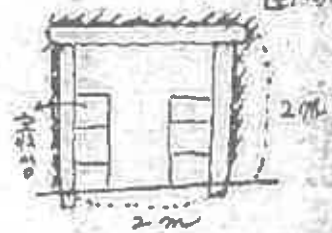
昭和三十一年四月十二日

元第ニ又改修隊附

海軍技術少尉

現住所

断面図



平面図

